

# 北九州革新懇ニュース

平和・民主・革新の日本をめざす北九州の会  
 〒803-0817 北九州市小倉北区田町 13-21 田町ビル 3 F  
 TEL093-592-5000 Fax093-571-4346  
 E-mail k-kakushinkon@ace.ocn.ne.jp

### 全国革新懇「三つの共同目標」

1. 日本の経済を国民本位に転換し、暮らしが豊かになる日本をめざします。
2. 日本国憲法を生かし、自由と人権・民主主義が発展する日本をめざします。
3. 日米安保条約をなくし、非核・非同盟・中立の平和な日本をめざします。

## 北九州革新懇 インタビュー



核不拡散条約(NPT)再検討会議が開かれている米ニューヨークで原爆投下後には救護所になった自身の母校、新興善小学校(旧新興善国民学校)の写真の前で証言する南嘉久さん＝米ニューヨーク(朝日新聞デジタル版 2015年5月1日)

**プロフィール** 南 嘉久(みなみ よしひさ) 年齢 70歳。昭和22年3月4日。長崎市生まれ。父母ともに長崎原爆の被爆者。小・中・高は長崎で卒業。大学時代は福岡。就職は北九州(北九州市民生活協同組合に入協)。結婚後も北九州(戸畑区)に住む。生活協同組合運動に長く関わり、現在は福岡県原爆被害者団体協議会の事務局長、福岡被爆二世の会の会長を担う。戸畑革新懇と戸畑原発をなくす会の結成呼びかけ人の一人。

今回は、「核兵器禁止条約」が国連で採択されるという歴史的な情勢をむかえている今日、福岡県被団協事務局長をされ、ご自身も被爆二世で長く核兵器廃絶運動に熱心に取り組んでこられた、南嘉久さんにご意見を伺いました。

**第1問:**さる7月7日に、歴史上初の核兵器禁止条約が国連会議で採択されましたが、被爆二世としての感想をお聞かせください。

私の両親はともに長崎原爆の被爆者です。父の家は当時爆心地から500mという至近距離にあった鉄道官舎でした。そこで、爆風、熱線、放射線を受けてそこと近辺で5歳、7歳、10歳、13歳の子どもたちのいのちを原爆が奪いました。爆心地から2.5km離れた長崎機関区で被爆した父

は、火の海となったところにいる子どもたちの安否を気遣いながら被爆者救援列車の指揮を取り、夕方、夜遅くと子どもたちを捜し回りました。悲しみを抱いて生きた父は、原爆症で本当に苦しみ抜きました。父母と私が会うこともなかった小さな兄、姉たちに私は国連でようやく核兵器禁止条

約が採択されたことを報告しました。彼らはどんなに喜んでのことだろうと思っています。「禁止条約」では、「被爆者の苦難の思いを心に留める」とし、さらに被爆者が果たしてきた役割、核実験被害者を含めたヒバクシャの支援に言及しました。私は、彼らをはじめ死んでいった多くの被

爆者の願い、世界の人々の思いに添えて、核兵器廃絶を実現させるためにこの禁止条約を力にして多くの人々と更なる奮闘をせねばと思っています。それは被爆二世である私の強い決意なのです。

### 第2問:安倍首相の9条改憲の表明についてどのように考えますか。

与党が国会で3分の2を占める状況の下で、国民に憲法を変える意思も醸成されていないのに、安倍首相及び彼を支持するグループの思いでの表明ですが、一面追い詰められての行動ですね。関連して言えば、この数年の日本の情勢を私はこうとらえています。①原発に反対する運動、沖縄の辺野古基地に反対する運動は、主権者意識を覚醒させました。②戦争法と共謀罪の成立に反対する運動は、主権者自覚を深くさせま

した。しかも主権者意識と自覚に火がついたととらえます。もう安部首相の権力でもどうしようもありません。「安倍政治をゆるさない」という標語には、これまでの政治的標語とまったく違ったレベルの怒りと質があります。今③改憲に反対し、勝利するために闘いの「構想力」を持ち、それを国民的に共有化することが重要です。その「構想力」の中で「非核の政府を作る」ことをしっかり位置づけなければなりません。

### 第3問:北朝鮮の度重なる弾道ミサイル発射に日本はどのように対応すべきと考えますか。

安倍首相はアメリカの北朝鮮に対する軍事的威嚇と挑発を支持する発言をしています。また国民にいたずらに脅威を振りまいていますが、まったく危険で、間違っています。まず日米韓の合同軍事演習を取りやめること、ミサイル発射を取りやめることを双方に呼びかけ、外交による平和的解決を真剣に進めること、そのことを日本が働きかけることが重要です。また核兵器禁止条約

に参加し、署名、批准し、その立場で北朝鮮にも参加を呼びかけていくことが大事だと思います。しかし、安倍首相にはできません。いよいよ「非核の政府」を作り、核の傘を抜け、北東アジア非核地帯構想を進めていくべきだと思います。憲法9条と憲法前文の主旨を生かした本当の積極的平和主義を推し進めることが必要です。

### 第4問:革新懇ニュース(全国革新懇、北九州革新懇)について、感想、ご意見があれば聞かせてください。

編集者のご苦勞を察しながらいつも読んでいます。トップ記事はとくに興味深く読んでいます。北九州市民でいろんな分野で活躍されている方に「あ、こんな方も登場しているのか!」と思わせ

る視野の広さで取り上げてほしいと思っています。地域の新たな活動の記事があるのもうれしいことです。

## 第28回福岡県革新懇総会開催

7月22日(土)、第28回福岡県革新懇総会が開催されました。第1部、記念講演では、乾友行氏(全国革新懇事務室長)が「市民と野党の共闘の発展と革新懇の課題」と題して、熱く語られました。いよいよ重要な革新懇運動であることが伝わるとともに、「確固とした展望をもった統一戦線運動の推進力」である



ことを確信できました。第2部の総会では、各地域の生き生きとした革新懇の取り組み状況が報告され、参加者それぞれの感動の受けとめがあり、刺激を受けました。2017年度の活動方針、予算案

が全員一致で承認されました。(北九州市民の会ニュース第78号8月1日版から)

## 小倉南区革新懇が第7回総会開催

小倉南革新懇事務局長 黒坂 佳男

2017年度の小倉南革新懇第7回総会が6月17日(土)14時から、小倉南生涯学習センターで開かれ、45名が参加しました。司会は原事務局員が行い、荒牧啓一代表世話人が開会挨拶を行いました。荒牧弁護士は、安倍政権は「共謀罪」をなぜ急ぐのか。「秘密保護法、戦争法、共謀罪と強行する安倍暴走に対し、市民と野党の共闘を発展させ、総選挙で勝利するために頑張らしましょう」と力強く訴えられました。引き続き三輪俊和北九州代表世話人は「いま革新懇の出番であり小倉南革新懇が牽引車となって頑張してほしい」と挨拶されました。柳井誠市議員、藤沢加代市議員から6月議会の市政報告が述べられました。総会では事務局長から2016年度の経過報告、篠田事務局員から会計報告、2017年度の活動方針、予算、新役員の紹介が行われ参加者全員の拍手で承認されました。

記念講演は徳本正彦氏(憲法学・九大名誉教授)が「憲法問題の核心は何か」と題して講演、5月3日の憲法記念日に安倍首相が「憲法9条、3項に自衛隊を明記し、9月をメドに自民党案を年度内に作り上げたい」と述べたことに対し、国民がこの問題をどうとらえているか、日本の将来を真剣に考えている人は少ない。特に憲法に認識を持っている人は少数であり、半数は無関心で



講演する徳本正彦九大名誉教授

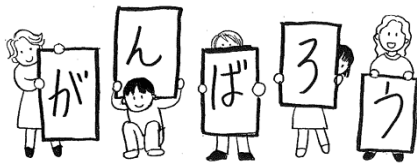
す」と述べられました。また「生まれたときから自衛隊が存在し、災害時の貢献など自衛隊に対するイメージは悪くない。いま憲法改悪に国民投票が行われれば大変な事になる」「戦争放棄をうたった憲法は日本だけであり『二度と戦争をしない』と多くの日本国民が、日本国憲法は世界の先端を行く憲法、なぜ変えるのかと声を上げ、戦争放棄、立法府の優位、地方自治の保障、生存権の保障など日本国憲法の歴史的意義を多くの国民に語っていかなければならない。また改憲と護憲の対立軸として「力の政治に立つ強権国家の樹立か、生活の政治に基礎を置く民主政治か説得していかなければならない」とも述べられ、特に安倍政権が暴走を始めており、高齢ですが「この時期に訴えなければと思い本日の総会に駆けつけました」と力強く講演をしていただきました。

閉会挨拶では有馬世話人から、「野党共闘の時代」です。市民運動は革新懇がカギを握っています。核兵器廃絶、被爆者署名など新しい流れの中で会員を増やし、さらに前進していくことが呼びかけられ、今後とも多くのみなさんの参加、協力をお願いしました。



# 8月3日 毎月恒例の「アベ政治を許さない」スタンディング宣伝

作家で九条の会呼びかけ人の澤地久枝さんが、毎月3日午後1時に掲げようと提案した「アベ政治を許さない」のポスターを掲げた宣伝行動が、取り込まれました。戸畑革新懇の恒例の宣伝行動です。浅生公園横で10数人の参加で元気よく取り込まれました。



本気の「市民と野党の共闘」で暴走政治を倒し、新しい政治に道を拓こう

11月18日・19日

## 地域・職場・青年革新懇全国交流会 愛知

★宿泊のご相談・申し込みは (ウラ面参照)

○主催 全国革新懇

○11月19日(日) 午前 分散会  
名古屋市・労働会館など

○11月18日(土) 午後 全体会  
刈谷市総合文化センター大ホール  
(名古屋駅から徒歩18分、JR刈谷駅前)

—全体会で連帯あいさつ—

- 広渡 清吾さん(市民連合)
- 高田 健さん  
(総がかり行動実行委員会)
- ミサオ・レッドウルフさん  
(首都圏反原発連合)

**すべての革新懇から参加を**

全国交流会の魅力は、なんといっても実際の革新懇活動を交流することです。全国各地の活動を交流、教訓や喜び、悩みや困難な問題も率直に話し合い、解決の方向を一緒に考え、明日への元気をもらうことができます。安倍暴走政治と「市民と野党の共闘」が真正面から対決する歴史的な情勢のもとで、政治を変える共同をどうつくるのか、という立場で学ぶことができるのも他にはない魅力です。

**2日目は 分散・分科会**

2日目は名古屋市内で分散・分科会を開催します。じっくりと交流しましょう。

職場革新懇交流会、青年革新懇交流会、特別分科会も企画予定です。

問合せ・申し込みは、都道府県革新懇が全国革新懇へ (☎03-6447-4334 FAX03-3470-1185)

